

はじめに

本書は、平成 20 年度末時点で 100 を数える独立行政法人について、平成 20 年度中に行われた業務実績評価等の当委員会の活動及び政府の取組を整理して、一覽的に国民の皆さまにお示ししようとするものです。

独立行政法人に対しては引き続き国民の厳しい目が向けられ、当委員会としても厳格な評価の取組が求められています。平成 20 年度は、当委員会が平成 20 年 7 月に策定した「平成 19 年度業務実績評価の取組について」等に基づき、各府省の評価委員会の評価結果について横断的な視点から二次評価を実施し、政府全体の評価の厳格性・信頼性を確保するとともに、評価の質の向上を期しています。その際、平成 19 年 12 月に策定された「独立行政法人整理合理化計画」で厳しくチェックすることが求められている契約の適正化・給与水準の適正化についての評価にも重点的に取り組みました。また、平成 21 年 3 月には、平成 21 年度以降に二次評価を行う際の指針となる「独立行政法人の業務の実績に関する評価の視点」及び「平成 20 年度業務実績評価の具体的取組について」や、当委員会での業績勘案率に係る議論の蓄積を整理した「役員退職金に係る業績勘案率に関する方針の補足説明」を取りまとめました。

独立行政法人が行う事業及び事務は、国民生活及び社会経済等の公共上の見地から確実に実施されることが必要なものです。また、独立行政法人は国民の信頼が得られるよう業務を効果的かつ効率的に実施することが求められています。更に、独立行政法人の経営の質の向上を図るために、業務の運営状況を国民に対し透明化するとともに、その評価に関する情報をより多くの方々に提供することは、大変有益であると考えております。

本書では、第 1 部で、独立行政法人制度の動向、法人数・役職員数、予算・財務等の状況をまとめ、独立行政法人制度全体を概観し、第 2 部で、上述の平成 20 年度に行われた業務実績評価等の結果について読者の見やすさに配慮しつつ整理するとともに、国立大学法人及び大学共同利用機関法人の業務実績評価に関してもその概要を取りまとめております。さらに、巻末には、独立行政法人に関する各種の基礎的な資料を掲載しております。

本書が各位のお役に立つことを期待するとともに、当委員会の活動、独立行政法人制度の的確な運用について、各位の御理解と御協力をお願いいたします。

政策評価・独立行政法人評価委員会
委員長 岡 素之